

特別支援教室だより

令和8年 1月 吉日
巡回拠点大杉東小学校
特別支援教室通信

【 今回のテーマ 】

指先を使うのが苦手な子

【 こんなことが考えられます 】

- ・微細運動（手先や腕、足を使う細かな運動）が苦手。
- ・活動や作業の内容をうまく理解できていない。
- ・生活経験が不足している。
- ・触感が苦手で触れない。（のり・粘土など）



不器用さを注意してしまったり動作を急かしてしまったりすることで、苦手意識が強くなってしまい、生活動作そのものが日々の中でストレスにつながってしまう場合もあります。

【 できることはなんでしょう 】

- ・活動や作業の内容を視覚化して、いつでも確認できるようにしたり、作業量を減らしたりする。
- ・普段何気なく行っている動作を丁寧に行うように意識させて、その姿勢を評価する。
(例：お箸の使い方やボタンの留め外しなど)
- ・遊びの中でいろいろな物に触れさせる。
(例：手につかないスクイズなどから始めて、その後色水遊び、小麦粘土など)

※感覚については人それぞれ個性があるので、感触過敏の改善自体を目的とするのではなく、触れなくてもいい環境づくり(代替行為)や、「〇〇は嫌だ。」と伝えられるようにするなど様々な支援方法があります。



本校には5名の巡回指導教員がおります。「特別支援教室」について、ご質問がございましたらご連絡ください。

また、本校のホームページに「特別支援教室だより」のバックナンバーも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

ホームページのQRコードはこちら 

